

ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市委員

NO.1326

21.1.26

新型コウウイルスワクチンの接種体制

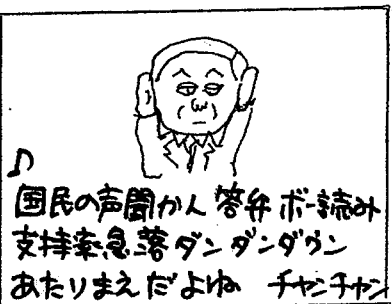
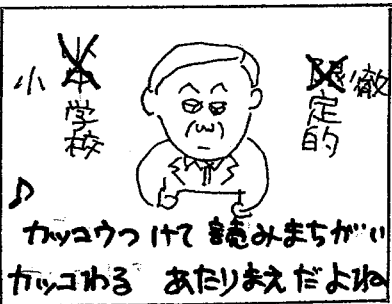
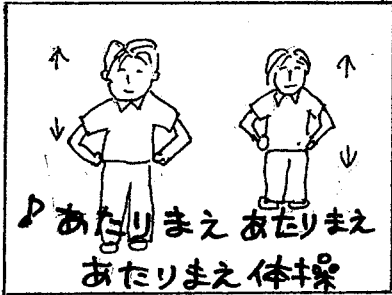
〇ワクチンが承認された場合に速やかに接種が可能となるよう、ワクチン接種の優先順位を踏まえ、都道府県、市町村と連携し、接種体制を整える

(スケジュールのイメージ)

医療従事者向け先行接種 (約1万人程度)	医療機関との調整 超低温冷凍庫の確保	体制確保	12~1月
医療従事者向け優先接種 (300万人程度)	医療機関との調整 医療関係団体との調整	冷凍庫 確保等	2月
高齢者向け優先接種 (3000万~4000万人程度) 和歌山市 約12万人	医療機関との調整 接種会場の確保 接種券の発行準備(印刷 郵送)	体制確保	3月
その他の方 (基礎疾患の対応等を優先) 和歌山市 約24万人	接種券の発行準備&印刷	郵送	4月
その他の体制	12.1日に各自治体向け説明会		

フツーの人々

<1109>



厚生労働省の実施要綱

前号の事業イメージに続き、今号はスケジュールのイメージについて、厚生労働省の実施要綱を紹介。

要綱では、市町村準備スケジュールが示されています。①人員体制の整備(会計年度任用職員契約、外部委託含む)など2月末までに行うものとして、②フリーパス発行、接種記録のシステム改修、③医療機関との調整・契約、④超低温冷凍庫の確保、⑤接種費用の確保など、3月にわかるものとして、⑥医療機関以外の接種会場の準備、⑦相談体制の確保(コールセンター)

運用は5月以降も続く。4月にかかるとのこととして、⑧フリーパス券等の印刷・郵送となっております。

今週のフツーの人々

(その272)

「当たり前がでない緊急事態宣言の下で初めてなる国会が始まり、スガ首相の施政方針演説に対する代表質問について、日当たり前がでない...スガさんの「あまりに短すぎる」答弁の深刻さ」というニュースを見ました。昨年1月のアベ政権への代表質問では、5時間50分の質問に政府答弁は5時間10分、今年1月の代表質問では6時間20分の質問に答弁が3

ワクチン接種の予算総額は15億9227万94円で、今年度補正分1億3162万2400円は、市長専決で予算化。残り14億6065万7千円は2年度当初予算で

時間45分で、質問時間に応じた答弁時間が確保されているにも関わらず答弁が短いと指摘。スガ首相の答弁能力を超えて、スガさんが率いる政府が不安や疑問を抱える国民に対する説明ができなくなっており、それが深刻だとの指摘です。

施政方針演説でも数か所の読み違いがあったようです。スガ首相には国民の声をよく聞くことと老眼鏡をお勧めします。



ひめだ高宏

ズサンな管理で個人情報流出

「流出」というより「漏えい」と言うべきかも知れませんが。一月22日、市・健康局総務企画課から、個人情報報告を含む資料の誤送信について「この報告文書が届きました。同課において、保健所職員に会議資料をメール送信した際、送信業務の不手際により、誤ったメールアドレスに個人情報を含む資料を送信した」という

誤送信した情報は、新型コロナウイルス感染者414名分の発表日・氏名・年齢・性別・入院日・入院機関名・退院日・可能性のあり感や経過、陽性確認日、が書かれた会議資料のグラフと表紙だけです。

深刻な事件は、25日の幹事長会議で説明があり、このような重要情報が個人用のパソコンにメールで送られてきたのは、なぜか？暗号化やパスワードの設定をしないか、たのはなぜか？そもそもメール送信は禁止されていないのか？との質問に当局から「和歌山情報セキュリティポリシー」が説明されましたが、そういったものが禁止されていないことが今わかり驚きました。

日本共産党

施政方針への代表質問

スガ首相の施政方針演説に対し衆院の代表質問で日本共産党の辻元清美氏は政府の大失政で危機を拡大している新型コロナウィルスの感染の抑止策

を中核に首相をただごとくた。これは首相の責任、医療、補償などの緊急施策を実行し、実行を止めさせた。緊急施策の第一は、PCR検査機材の技術的拮抗で、無症状者のための感染対策を把握、保護し新規感染者の減少を図ること。第二は、医療機関と事業者、保健所への支援の抜本的な。第三は、

潮流

東京五輪が延期された昨年、マラソンメダリストの有森裕子さんがこんなことを語っていました。「私たちがスポーツというのは、ちゃんとした社会のもとで成り立っている」▼社会が落ち着かないのに、スポーツのこのだけを考えて五輪開催には価値があるという話けるのは、ちょっと違う主張ではないか。聞くからには何か明るく笑え、直すものがあるべきではないか。

こピック委員会の上口香理事は、開催の判断が長引くほど国民の気持ちや五輪から離れていくと新聞に語っています。中ぶらりんの状態や選手の準備不足を心配し、「国の説明が足りない」とも訴えています▼複雑な思いは現役からも。カヌー五輪代表の羽根田卓也選手は、まずは自分の自身がコロナの収束に最大限尽くすことだと。ペーパードピックの土田和歌子選手は「いまは命を優先するべき。命が約束された世の中であってこそスポーツが成り立つ」

▼意味はない五輪ならは問題なく意味がない。はっきり口にする選手も。みずから失政で感染を拡大したが首相は根拠も示さず、開催のことがみづからかっています。このままでは選手や五輪も浮かばれません。

▼意味はない五輪ならは問題なく意味がない。はっきり口にする選手も。みずから失政で感染を拡大したが首相は根拠も示さず、開催のことがみづからかっています。このままでは選手や五輪も浮かばれません。

赤旗
日刊紙
4977円/月
9300円/年